



樹光

大村病院広報誌
じゅこう
2026年4月vol.38

「揺れる医療経済の中で」



大村病院
理事長
森村安史

医療界はこれまで経験した事が無い未曾有の厳しい財政状況にあります。諸物価が高騰する中で、医療費は公定価格ですので、政府が決めた診療報酬が増えなければ支出ばかりが増えていきます。我が国の多くの病院が赤字に転落して、これ以上の経営努力もできない状況に追い込まれています。医療は人によって支えられています。国家資格を持った人や介護のお手伝いをしていただく方など多くの人材が不可欠です。人件費を削るわけにもいきません。給食も提供する必要がありますが、こちらの価格も決められています。手足を法律や制度で縛られてしまい、努力によって改善できる事はわずかしか無いのが現状です。

医療は国民の健康を守る大切な社会インフラの一つです。安全保障の一つであり、数年前のコロナ騒動が起きた時などには、余剰なベッドや

人員がなければとても対応できませんでした。一方で、平時にはこれらの余剰病床や余剰職員は、経営を圧迫する原因となってしまいました。

医療政策は政治の道具として右に左に揺れ動きながら生きてきました。これからどのようになかされていくのか将来はまだ見えません。変わらず我々は人の命に関わる仕事に携わっている中で、医療経済は揺れ動きます。今はとても厳しい時代ではありますが、これからも大切な医療を守っていくために努力を続けていきたいと思えます。



大村病院主催

研修会・見学会の報告

令和七年七月二十三日(水)と八月二十七日(水)に当院主催で研修会・見学会を行いました。

精神科病院は一般科の病院と違い、精神保健福祉法を基に運営されています。一般科の病院では聞き馴染みのない「入院形態」などのルールが存在し、元々の精神科病院の閉鎖的なイメージもあいまってハードルの高さを感じる関係者の方も多いのではないのでしょうか。

そこで精神科である大村病院を実際に観て、聞いて、知ってもらおうと、今回の研修会・見学会を企画しました。おかげさまで両日とも定員を超える四十名以上の方に参加いただきました。

これからも可能な限りこのような機会を設け、地域援助事業者の皆様と相互の理解を深め協力し合いながら、精神科病院としての役割を果たして行きたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。





西病棟3階をご紹介します



男女混合の閉鎖病棟で病床数は52床です。様々な年齢、疾患の患者様が入院されており精神疾患の治療だけでなく、身体合併症の治療も行えるよう内科医の診察も行っています。内科的な治療や管理も行い、身体面と精神面の両方を大切にした看護を心掛けています。また、看護学生の実習も受け入れており、学生さんが安心して学べるよう丁寧な指導とサポートを行っています。実習を通して、精神科看護の理解を深め多くの学びを得られる環境づくりにも取り組んでいます。



看護学生の実習



レクリエーション

病棟では、患者様の社会性や生活意欲を高めるため、季節を感じ取れるようなレクリエーションを取り入れ、スタッフで企画しています。季節のレクリエーションを通して、患者様が季節の変化を感じ、生きがいや楽しみをもって笑顔で入院生活が送れるよう取り組んでいます。

これからも、患者様が安心して過ごせる温かい病棟づくりを目指していきます。

西病棟3階 副師長 島津 真由





防災訓練を行いました



10月22日、当院デイケアセンターにて火災を想定した避難訓練を実施しました。

今回は畳コーナーからの出火を想定し、職員が連携して避難誘導を行う訓練を行いました。訓練開始の合図とともに、職員は火元確認のうえ初期消火を開始。別の職員は所轄消防署への通報や利用者様の避難誘導など緊張感をもって訓練に取り組みました。



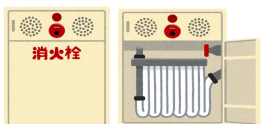
備えが大事



消火訓練

車椅子の方や歩行に不安のある方にも配慮し、落ち着いた雰囲気の中で訓練が進められ、避難訓練のあとは水消火器を使用した消火訓練も実施しました。消防署の方から講評をいただき、利用者様にとっては日頃の備えの大切さを実感する機会にもなり有意義な訓練となりました。

今後も定期的な訓練を通じて、万が一の事態にも冷静に対応できる体制づくりをし、利用者様の安心に繋がるように努めてまいります。



大村病院基本理念

私たちは

- 1 医療を行うに当たり「ヒポクラテスの誓い」を、行動の倫理的基盤とし、常に自らの行為が「誓い」の精神にかなうように努めます。
- 2 慈愛に満ちた良質な医療を提供するために、専門職業人としての能力を研鑽するように努めます。
- 3 患者さま個人の尊厳に重きをおき、人権に配慮された親切で丁寧な対応をするように努めます。
- 4 医療を通して地域社会に貢献し、人々の健康維持、増進に寄与するように努めます。

お出かけスポット

大村由巳(おおむらゆうこ)像



場所：三木市大村

東戦国時代から安土桃山時代の能作者・著述家。播磨三木市の出身。始めは僧侶であったが、還俗して豊臣秀吉の御伽衆※となる。後に『天正記』の著書でもある。

※御伽衆(おとぎしゅう)：将軍や大名に仕え、話し相手や書物の講釈、教養の進講など主君の側近を務めた人

● 編集後記

昨年、映画『国宝』が人気となり、異例のロングラン上映。映画を観て、実際に大歌舞伎を観に行かれる人も増えたそうです。映画に出てきた『鶯娘』『曾根崎心中』が上演され、チケットが取りにくくなったとも聞きました。

歌舞伎は大歌舞伎だけではなく、地歌舞伎・子ども歌舞伎などが各地にあります。四月には、滋賀県長浜市にて『長浜曳山祭り』、五月は岐阜県垂井町にて『垂井曳山祭り』が行われます。どちらも小学生が、曳山の上で歌舞伎を披露します。

大型連休のお出かけ候補としていかがでしょうか。

● ご意見・お問合せ

大村病院広報委員会 ohmura@ohmura-hp.net



医療法人樹光会 大村病院

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話：0794-82-1132 FAX：0794-83-5739
<https://www.ohmura-hp.net/>

関連病院・施設等

デイケアセンター みちしば

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話：0794-70-8400 Fax：0794-83-5739

就労継続支援B型 こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
電話：0794-70-7115 Fax：0794-82-2173

グループホーム こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
電話&Fax：0794-82-2173

グループホーム ひかり

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地223
電話&Fax：0794-82-2173

訪問看護ステーション あびい

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話：0794-83-6624

あびい 居宅介護支援事業所

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話：0794-82-2726 Fax：0794-83-5739

小野市障がい者基幹相談支援センター

〒675-1380 兵庫県小野市中島町531番地
小野市役所2階 社会福祉課内
電話：0794-63-1000 Fax：0794-63-6600

一般財団法人仁明会 仁明会病院

〒662-0001 兵庫県西宮市甲山町53-20
電話：0798-71-3001 Fax：0798-72-6004

医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院

〒662-0884 兵庫県西宮市上ヶ原十番町1-85
電話：0798-52-2001 Fax：0798-54-5176

大村病院広報誌 **樹光** (じゅこう)

2026年4月1日 発行 vol.38

発行 医療法人樹光会大村病院

編集・制作 広報委員会